



槐 魂

～10月号～

生徒会広報部

季節の変わり目に差し掛かり、
過ごしやすい時期となりました。
このシーズンを存分に楽しもう！

お知らせ
新しいコーナーが入り、今月の新聞を二面発行にしました。是非、裏面も読んでみてください。

第5回体育祭 笑いあり感動あり

～雨に負けない男たち～

九月七日、混沌とする天気の中、体育祭が行われました。体育祭といえは年間の三大イベントの一つで、全国からはるばる多くの保護者が来られました。残念ながら当日、雨天プログラムへの変更が決まり、中高合わせて半分以上の競技が続行不能となりました。ですが楠隼生はそれに動じず、声を張り上げ観客に精一杯演舞を披露しました。

綱引き 赤組

今回の赤組の見せ場といっても過言ではない「綱引き」。本番の二日前に行ったりリハサルでは赤組は白組に零勝五敗という耳を疑うような負け方をしてしまいました。そこで、赤組によるリベンジの為、先生方がアドバイスをして下さりました。具体的には、空の方向を向いて縄を引っ張ることや二本の腕だけではなく、脇に縄を挟んでもう一つの手を作るなど綱引きにおいての有力なアドバイスを多く用意して頂き、学級ごとにリベンジを図りました。

本番では、中尾先生による熱いアノウンスで盛り上がっている中、入場が行われました。五回戦あり、中学生と高校生の学年別クラスマッチ。そして最後には、各学年の選抜されたメンバーで競うことになっていました。競技中は勝敗に一喜一憂するように生徒全員で綱引きに夢中でした。途中、先生方も綱引きに参加していました。結果は最初で勢いをつけた赤組が三勝二敗でリベンジ成功となりました。

白組

今年初めて行われた高校一・二年生の徒競走。数少ない高校生の競技の一つで中学生のプログラムに挟まれていました。しかし、体育祭を「一番盛り上げていた」競技でした。

ランナーは準備体操を終え、始めの合図で一斉に走り出しました。雨でぬかるんだ地面での事故が発生する可能性がありましたが、ゴールテープ手前でスライディングしてダイナミックにゴールしていました。そこから初めから終わりまで二人三脚や、お互いを担いで走ることなど滑るよりも転ぶ生徒が多く、色々なパフフォーマンスがあり、観客を沸かせていました。全体的には、白組の圧勝となりましたが、紅白合わせて一生懸命に走っていました。

薬丸野太刀自頭流演舞

今年も雨に打たれながら木刀を掲げて大声で入場した一年生。演舞するのは、肝付の伝統でもある薬丸野太刀自頭流。以前から、地域の師範の方々に来て頂き木刀の持ち方や右トンボ、左トンボなどの技、振る時の大声の出し方などの練習を積みました。

本番では、一人一人が横木を前に幾つか作法をとってから、太鼓の音を始めて木刀を振りまわした。最後にメインである演舞は学年の中から稲垣奏也さんと小八重文貴さんが師範の方と一緒に披露しました。観る方も圧

閉会式

閉会式では、結果として競技の部・応援の部でどちらとも白組の優勝でした。しかし、校歌斉唱の際には、ぶつかり合った仲である赤組と白組が肩を組み合って歌うという伝統になりつつある動きがありました。万歳三唱はPTA会長が務められ、今年も「楠隼は今日も元気でるか」「元気でるか」と全員で発し、「風変わった万歳三唱になりました。」

今年の体育祭では、去年と同じく雨天プログラムでの実施となってしまうましたが、その困難を生徒全員で乗り越え、絆を深め合うことができました。今年の気合いで来年の体育祭の日が快晴になるよう祈っています。

〈白川〉



凄く充実した体育祭でした。来年度もどうぞご期待ください！！